

## 平成30年度 マンション維持修繕技術者試験 受験申込案内書

- 1. 試験実施概要 ..... P. 1～2
- 2. 受験資格 ..... P. 3
- 3. 受験資格の証明 ..... P. 4
- 4. 試験出題概要 ..... P. 5
- 封筒貼付用紙(受験申込書類送付用) .. P. 6

別紙 (様式-1) 受験申込書  
別紙 (様式-2) 受験整理票  
別紙 (様式-3) 実務経験証明書

一般社団法人 マンション管理業協会

〒 105-0001 東京都港区虎ノ門1-1 3-3 虎ノ門東洋共同ビル2階

TEL : 03-3500-2720

(試験研修部直通 9～17時 ※土日・祝日・年末年始休日を除く)

FAX : 03-3500-1261

メール : [ijishiken@kanrikyo.or.jp](mailto:ijishiken@kanrikyo.or.jp)

ホームページ <http://www.kanrikyo.or.jp/>

### マンション維持修繕技術者とは

マンション維持修繕技術者資格認定事業は、一般社団法人マンション管理業協会（以下「協会」という。）が、マンションの維持保全に関する対応力の向上を図り、円滑な共同居住に関する社会的な要請に応えることを目的に行うマンション維持修繕技術者試験(以下「試験」という。)及びマンション維持修繕技術者登録（以下「登録」という。）により、マンションの建物と設備の維持修繕に関する知識及び技術を有していることを審査し認定している事業です。試験に合格し、かつ登録を受けた者に「マンション維持修繕技術者」の称号を付与しています。

# 1. 試験実施概要

<p>1. 受験申込</p> <p>①申込受付期間 (受験手数料振込期間)</p>	<p>平成30年 9月18日(火)～10月31日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期限厳守 当日消印有効 11月1日以降の消印であるものは受理しません。</li> <li>・受験手数料の振込完了後に申込書類一式を送付してください。</li> <li>・団体申込の場合は上記期間必着に限り宅配便の利用も可能です。</li> </ul>	<p>受験資格を満たさない申込者に限り所定の手続きにより受験手数料を返します。申込後は、以下の事由による受験手数料の返金手続きはしませんのでご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込後のキャンセル、欠席</li> <li>・申込書類等の不備</li> <li>・その他自己都合による事情等</li> </ul>
<p>②受験資格</p>	<p>あり (詳細はP. 3参照)</p>	<p>審査により受験資格を満たさない場合は11月末日までに通知します。</p>
<p>③受験会場 (地域)</p>	<p>東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡</p> <p>受験地域選択可 (ただし同一地域内での会場選択は不可)</p>	<p>会場の詳細は受験票の発送をもってお知らせします。</p>
<p>④受験申込方法 ・提出書類</p>	<p>郵便局窓口より「特定記録郵便」で下記書類を郵送</p> <p>注：書類の折曲・ホチキス留不可 消えない黒インクのペンで記入すること</p> <p>(1) 受験申込書(様式-1)</p> <p>(2) 受験整理票(様式-2)</p> <p>「顔写真」及び「振込証書等の写し」を貼付 注：写真印画紙の紙質は、はがれやすいため はがれ難い接着剤でお貼りください。</p> <p>(3) 受験資格を証明する書類等 (詳細はP. 4参照)</p> <p>(4) 団体申込担当者連絡先等(団体申込の場合) 申込担当者の名刺、各受験会場の申込者数を添えて、 申込者ごとに(1)～(3)を重ねて(ホチキス留不可) 受験会場別にまとめてご提出ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>送付先：〒 105-0001 東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル2階 (一社) マンション管理業協会 マンション維持修繕技術者試験 係</p> </div>	<p>送付先(協会) <u>角2封筒(24cm×33.2cm)に</u> P6「封筒貼付用紙」を貼付けて送付できます。</p> <p>顔写真について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タテ3cm×ヨコ2.4cm</li> <li>・無帽、無背景、正面より撮影</li> <li>・頭部(縦)の大きさは2cm程度で顔が鮮明であるもの</li> <li>・6ヶ月以内に撮影したもの</li> </ul> <p>振込証書等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写し(原本のコピー)を添付 原本は領収書として各自で保管</li> <li>・団体振込は1枚のみ提出可</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験手数料振込証書等の写し(原本のコピー)について <u>窓口又はATMで発行される原本をコピーしたものを貼付けてください。</u> 注：各金融機関(ATM含む)が発行する振込証書等の原本、ネットバンキングで振込決済が完了した画面を印刷した用紙は、税務署で認められている正式な領収書になります。そのため、<u>受験手数料の領収書等は発行いたしませんので、原本は提出または紛失されないよう、各自で保管</u>をお願いします。</li> <li>・ネットバンキングについて <u>振込手続と振込の完了を同時に</u>してください(振込予約は原則不可)。やむを得ず振込完了日が翌日以降になる場合は、振込明細書は<u>振込完了日以後に印刷</u>してください。</li> <li>・受験申込の受理確認方法について 特定記録郵便の問い合わせ番号により日本郵便(株)のホームページの郵便追跡サービスをご利用ください(協会では受理状況についてお答えしません。)</li> </ul>	

<p>⑤受験手数料</p>	<p>10,800円 (消費税込 振込手数料別途)</p> <p>振込先 (金融機関窓口、ATM、ネットバンキング利用可) 三井住友銀行 東京公務部 (店番号096) 普通預金 No. 0163260 口座名義 一般社団法人マンション管理業協会 修繕試験口</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振込手数料は申込者負担でお願いします。</li> <li>振込人名義は<u>申込者氏名</u>としてください (氏名の後に社名併記可)。団体申込の場合は法人名での振込も可能です。</li> </ul>
<p>2. 受験票送付</p>	<p>平成30年 <b>12月下旬</b> に発送します。 <u>受験票は必ず試験会場に持参</u>してください。</p> <p><b>受験会場地域を変更する場合</b> 転勤等の事情で受験会場地域を変更する場合は、<b>12月7日(金)</b>までにご連絡ください。</p> <p><b>受験申込書記入事項を変更する場合</b> 申込時の受験会場地域、氏名、生年月日、変更後の内容、変更予定日を記載し、メール、FAX又は郵送で、速やかに協会までお知らせください。 * <b>協会連絡先は本案内表紙に記載</b>しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験票(ハガキ)は普通郵便で申込者の現住所に送付します。</li> <li>1月6日までに受験票が届かない場合は、氏名・生年月日・受験会場地域を記載したメール、FAX又は電話でご連絡ください。</li> <li>同一地域内での会場の変更・指定はできません。</li> <li>提出書類の不備未解消者には受験票を送付しませんのでご注意ください (受験辞退とみなします。)</li> </ul>
<p>3. 試験実施</p>	<p>平成31年 <b>1月20日(日) 13時00分～17時00分</b></p> <p>時間割</p> <p>①注意事項説明 13:00 ～ 13:15 (15分) ②択一式試験 13:15 ～ 15:35 (2時間20分) 休憩 ③注意事項説明 15:50 ～ 16:00 (10分) ④記述式試験 16:00 ～ 17:00 (1時間)</p> <p><b>受験時の注意事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会場には、受験票、BかHBの黒鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック製消しゴム、腕時計(時計機能のみのもの)を持参してください。腕時計以外の時計の持ち込みはできません。</li> <li>試験開始前に、携帯電話等の電子機器類の電源を必ず切ってください(電源を切らずに着信を消音設定にすることも不可となります。)。電源の操作方法は、事前に必ず確認しておいてください。</li> <li>試験開始時刻から30分経過後は入室できません。</li> <li>交通機関の遅延の場合(要遅延証明書持参)には、択一式試験開始時刻から1時間までは入室を認めます。</li> <li>来場の際は公共交通機関をご利用ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験開始時刻より30分(交通機関の遅延証明書持参の場合は1時間)経過後は入室不可となります。</li> <li>試験実施中の退出は、所定の時間経過後に可能となります。</li> </ul>
<p>4. 合格者・正解等の発表</p>	<p>平成31年 <b>2月15日(金)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受験者全員に合否通知書を発送します。</li> <li>協会ホームページに、合格者受験番号、試験問題・正解及び合格基準点等を掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合格者には同時に資格者登録手続き方法もご案内します(登録申請期間は2月末日までを予定。)</li> <li>団体申込でも、合否通知書は各受験者の現住所に送付します。</li> </ul>

## 2. 受 験 資 格

本試験は、次の(ア)から(コ)のうち、いずれか1つに該当する方が受験できます。

(ア) 次の A または B に該当する建築・設備実務経験者

修業課程		建築課程等 修業年数	建築・設備 実務経験年数	
(ア) A	①～⑧の「建築等 *に関する課程」 を修業し、かつ建 築・設備に関する 所定の実務経験 年数以上を有す る者  *機械・電気・土木関 係課程も含む	① 大 学	4 年	1 年以上
		② 短期大学	3 年	2 年以上
		③ 短期大学	2 年	3 年以上
		④ 高等専門学校	5 年	3 年以上
		⑤ 一般高卒以上を対象とする 専修学校・各種学校	2 年	3 年以上
		⑥ 一般高卒以上を対象とする 専修学校・各種学校	1 年	4 年以上
		⑦ 工業高校	3 年	5 年以上
		⑧ ⑤及び⑥を除く中卒以上を対 象とする専修学校・各種学校	2 年	6 年以上
(ア) B	8 年以上の建築・設備の実務経験を有する者（学歴不問）		8 年以上	
<p><b>実務経験とは</b></p> <p>新築・改修を問わず、建築・設備の設計や工事に関わる実務、診断・積算等の長期修繕計画書の作成に関わる実務、又は維持保全に関わる実務等になります。</p>				

(イ) 大規模修繕コンサルタント実務研修\*修了者 ※平成11年6月から平成14年7月までに6回実施

(ウ) マンション維持修繕技術専門課程研修受講者\* ※平成15年度から平成30年度に受講した者  
注：今年度の本研修の受講で受験資格を得る受験申込者に、出席確認ができない講義があった場合は、受験資格が得られません。

(エ) 「一級建築士」又は「二級建築士」

(オ) 「技術士（建設部門・文部科学省認定資格）」注：施工管理技士の資格ではありません。

(カ) 「建築設備士」

(キ) 区分所有管理士試験合格者

(ク) 管理業務主任者試験合格者

(ケ) 管理業務主任者移行講習\*修了者

※平成13年8月から平成14年4月に実施された「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」附則第5条の規定に基づく講習

(コ) マンション管理士試験合格者

### 3. 受 験 資 格 の 証 明

複数の受験資格を有する場合は、受験資格を1つ選択して提出してください。

- ・下の表の(ア)から(コ)の記号は、前ページの受験資格の記号になります。
- ・各種証明書等の写しは原本をA4用紙にコピーし、切り取らずにそのまま提出してください。

受験資格 の記号 (P3参照)	受験資格を有することを証明する書類等						
	[1] 建築課程等の 修業を記載し た卒業証書等	[2] 実務経験 証明書 (様式-3)	[3] 過去の本試験 の受験票又は 合否通知書	[4] 資格者証 (免許証・ 登録証等)	[5] 資格の試験 合格証明書	[6] 受講票 (表面)	[7] 研修・講習 の修了証
	[写し]	[原本]	[写し]	[写し]	[写し]	[写し]	[写し]
(ア)A	●	● <sup>※1</sup>	○				
(ア)B		● <sup>※2</sup>	○				
(イ)							●
(ウ)						●	
(エ)(オ)(カ)				●			
(キ)(ク)(コ)				●	○		
(ケ)				●			○

凡例 ●：提出を要するもの

○：●の他に提出可能であるもの(●か○のいずれかを提出)

●<sup>※1</sup>：建築・設備実務経験1～6年(P3表参照)以上を証明 ●<sup>※2</sup>：建築・設備実務経験8年以上を証明

◆[1]卒業証書等(写し)について ※A4用紙への縮小コピー可

建築・設備等の実務経験年数が8年未満である場合は、建築・機械・電気・土木関係課程の修業が確認できる卒業証書等(写し)も必要となります。建築等の修業課程が確認できない学科名称(例 都市、環境、システム等の名称)である場合は、修業科目名が記載された書類(写し)も提出してください。

◆[2]実務経験証明書の注意事項 ※原本を提出してください。

- ・実務経験の証明者は代表取締役又は取締役のみ可(押印は役職印に限る。)となります。その他の執行役員等による証明であるものは受理しませんのでご注意ください。
- ・現勤務先の代表取締役又は取締役は、受験申込者より入社時等に受理した職務経歴書記載事項に基づき、入社前の実務経験・年数も併せて証明することが可能です。
- ・代表取締役本人の実務経験を証明する場合は、実務経験期間の建築、設備等に関する事業の実態が証明できる諸官庁等交付書類等(写し)も提出してください。

◆[3]過去の本試験受験票、[6]受講票の紛失について

受験申込前に、①試験・研修の名称 ②氏名 ③受験(受講)した年 ④受験(受講)会場の地域 ⑤西暦生年月日(過去の受験者のみ) ⑥日中の携帯等連絡先(FAX返信希望者はFAX番号)を記載した再発行依頼を、本案内表紙に記載するメールアドレス又はFAX番号まで送信してください。

◆[6]マンション維持修繕技術専門課程研修受講票について(今年度受講予定者)

今年度本研修を受講することにより受験資格を得る場合は、受験申込前に本研修の申込みを完了し、受講票受領後に受験申込みをしてください。本研修受講前の受験申込みは可能です。

◆提出書類等に旧氏名が記載されている場合の提出物について

旧氏名の本人確認ができるもの(例：運転免許証両面の写し、戸籍抄本の写し等)も提出してください。

## 4. 試験出題概要

試験は、択一式試験及び記述式試験となります。

試験形式	択一式試験	出題数 50問 (マークシート方式による四肢択一式)
	記述式試験	解答数 25問 (記述又は適切な用語を選択して記入するなどの方式)
出題分野	<p>マンションの建物・設備の維持修繕業務を円滑に行うために必要な基礎知識や専門知識、現場対応等実践的業務に必要な総合能力や応用能力について出題します。</p> <p>下記の科目ごとの内容、又は各科目にまたがる内容の範囲とします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マンションの概論(一般建築知識含む)</li><li>・建物・設備の維持保全、劣化、調査診断、修繕設計</li><li>・修繕工事の施工・監理</li><li>・マンション修繕に関わる法律等の知識</li></ul> <p>※出題根拠となる法令等は平成30年4月1日現在施行されているもの</p>	
参考図書	<p>「マンション維持修繕技術ハンドブック(第4版)」 (株式会社 オーム社 発行 / 一般社団法人 マンション管理業協会 編)</p> <p>「長期修繕計画標準様式・作成ガイドライン活用の手引き」 (国土交通省 監修 / 財団法人(現 公益財団法人) マンション管理センター 発行)</p> <p>「マンション標準管理規約・コメント等」 等</p>	

### 【個人情報の取り扱いについて】

個人情報保護法に基づき、マンション維持修繕技術者試験において得た受験申込者の個人情報につきましては、本事業の実施に関わる業務以外には使用いたしません。

以上

郵便局窓口  
で重量を確  
認の上、切手  
をお貼りく  
ださい。

特定記録

折曲厳禁

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-13-3

虎ノ門東洋共同ビル 2階

一般社団法人 マンション管理業協会  
「マンション維持修繕技術者試験」係

氏名	( 人※) ※2名以上の申込書類を同封する場合には、1名の氏名・住所、申込人数を記載
自宅住所	〒
社名 (記入任意)	
受験希望地域	<input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪 <input type="checkbox"/> 札幌 <input type="checkbox"/> 仙台 <input type="checkbox"/> 名古屋 <input type="checkbox"/> 広島 <input type="checkbox"/> 福岡

同封書類 【折曲・ホチキス留不可】

- 1. 受験申込書(様式-1)
- 2. 受験整理票(様式-2) \*顔写真・振込証書(写し)
- 3. 受験資格を証明する書類等
  - 実務経験証明書(様式-3)、建築・設備課程等の卒業証明書等(写し)
  - 上記以外の受験資格証明書等(写し)\*提出書類はA4用紙にコピーして切り取らずにご提出ください
- 4. 団体申込担当者連絡先等(団体申込の場合)

受験申込締切日：2018年10月31日(水) \*当日消印有効 期限厳守

## 平成30年度マンション維持修繕技術者試験 受験申込書

一般社団法人 マンション管理業協会 理事長 殿

私は、受験申込提出書類の記載内容が事実と相違ないことを誓約し、マンション維持修繕技術者試験の受験を申し込みます。

記入日	平成 年 月 日	印
フリガナ	(姓)	(名)
氏名 (自署)		
生年月日	西暦 年 月 日 生 ( 歳 ※記入日時点)	
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
受験希望地	<input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪 <input type="checkbox"/> 札幌 <input type="checkbox"/> 仙台 <input type="checkbox"/> 名古屋 <input type="checkbox"/> 広島 <input type="checkbox"/> 福岡	
自宅現住所 受験票等送付先 (勤務先不可)	〒	
平日(昼間)にご連絡可能な 携帯電話等番号 ※1		
現在の 勤務先 ※2	商号又は名称	支店名・所属部署名 [ ]
	電話番号	<input type="checkbox"/> 電話連絡可 ※1 (番号： ) <input type="checkbox"/> 電話連絡不可
<p>受験資格 (添付する証明書類等に該当する受験資格)</p> <input type="checkbox"/> ア：(A)建築課程等の修業+実務経験 (B)実務経験 (8年以上) <input type="checkbox"/> イ：大規模コンサルタント実務研修修了者 <input type="checkbox"/> ウ：マンション維持修繕技術専門課程研修受講者 <input type="checkbox"/> エ：一級建築士または二級建築士 <input type="checkbox"/> オ：技術士(建設部門・文部科学省認定資格) <input type="checkbox"/> カ：建築設備士 <input type="checkbox"/> キ：区分所有管理士試験合格者 <input type="checkbox"/> ク：管理業務主任者試験合格者 <input type="checkbox"/> ケ：管理業務主任者移行講習修了者 <input type="checkbox"/> コ：マンション管理士試験合格者		
<p>本線枠内に黒ボールペン(インクが消えるペン)は不可)を使用し、文字は楷書、数字は算用数字で記入して下さい。</p> <p>※1. 受験申込者へ連絡を要する場合に協会よりご連絡します。 ※2. 勤務先欄(商号又は名称、勤務先電話番号)は差し支えない範囲でお書きください(記入は任意)。</p> <p>*事務局使用欄</p>		
	*受験番号	*受付番号



## 平成30年度マシヨソ維持修繕技術者試験

## 受験整理票

受験手数料振込証書等の写し(原本のコピー)貼付欄

点線枠内にお貼りください(縮小コピー可)

フリガナ	
氏名	
生年月日	西暦 年 月 日生
年齢	歳 ※記入日時点
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
受験希望地	<input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪 <input type="checkbox"/> 札幌 <input type="checkbox"/> 仙台 <input type="checkbox"/> 名古屋 <input type="checkbox"/> 広島 <input type="checkbox"/> 福岡

顔写真貼付欄

フリ 3.0cm  
ヨコ 2.4cm

写真印画紙は  
はがれやすい  
ため写真裏に  
・氏名  
・受験希望地  
を必ず記載の  
上貼り付けて  
ください

領収書等は送付しませんので、金融機関窓口またはATMより発行される  
原本は、必ずご自身で保管してください。  
ネットバンキングをご利用の場合は、振込決済完了日以後の印刷日が記載  
された明細等を提出してください(別添可)。

\*事務局使用欄【受験申込者は記入しないでください】

【1. 択一式】

 S  K  T  S  K  T

【2. 記述式】

\*事務局使用欄

\*受験番号

\*受付番号

## マシヨソ維持修繕技術者試験 実務経験証明書

年 月 日

(受験申込者氏名) \_\_\_\_\_ に関する実務経験に関し、以下の記載内容が事実と相違がないことを証明します。

【証明者】主たる事務所の所在地 \_\_\_\_\_

商号又は名称 \_\_\_\_\_

役職名\*2・氏名 \_\_\_\_\_ 印

注：  
証明者の役職は「代表取締役」又は「取締役」のみ可となります  
ます（取締役でない執行役員等の証明は無効）。  
役職印での押印とし、個人名の認印又は会社の認印（角印）  
の押印は無効になります。

勤務先の所属部署 <small>前職の実務経験も併せて証明する場合は社名も記載（下記*3参照）</small>	実務経験期間	経験年月数	具 体 的 な 業 務 内 容 <small>新築・改修を問わず建築・設備の設計や工事、診断・積算等の長期修繕計画書の作成、又は維持保全に関わる実務等について具体的に記載のこと</small>
	西暦 年 月～西暦 年 月	年 月 月	
	西暦 年 月～西暦 年 月	年 月 月	
	西暦 年 月～西暦 年 月	年 月 月	
	西暦 年 月～西暦 年 月	年 月 月	
	西暦 年 月～西暦 年 月	年 月 月	
<b>合 計</b>		<b>年 月 月</b>	受験申込日までの実務経験年数の合計が、証明を要する所定の年数以上となるように記載してください

- \*1. 記入に際しては黒ボールペン（インクが消えるペンは不可）を使用し、文字は楷書、数字は算用数字で太線枠内に記入して下さい。
- \*2. 証明者は代表取締役又は取締役のみ可となります。その他の執行役員等による証明であった場合は、本証明書は無効となります。
- \*3. 現勤務先の代表取締役又は取締役は、受験申込者より入社時等に受理した職務経歴書記載事項に基づき、入社前の実務経験・年数も併せて証明することが可能です。

\*事務局使用欄

\*受験番号

\*受付番号